

# 第21号 西伊敷校区社会福祉協議会だより【校区社協活動報告】令和4年4月

西伊敷校区社会福祉協議会(校区社協)は、町内会連合会及び民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等との連携を図りながら「みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくり西伊敷」を目指して活動しております。

昨年度は福祉委員の改選があり、新しいメンバーでの西伊敷校区社会福祉協議会が始動しました。早いもので、新しい年度となり、また今年度も校区福祉向上のため計画的に各事業を行っていきたいと思います。

本紙では、日々の校区社協の活動をより皆様に知っていただけるよう、令和3年度9月以降の活動を中心にご紹介します。

## 敬老タオル贈呈



9月4日（土）に敬老タオルの贈呈が行われました。今年度の配布対象者は、2639人でした。敬老タオル贈呈事業は、校区社協の中でも大きな事業の一つです。ご年配の方々に、いつまでも元気に、楽しく、健康に過ごしてもらえるよう校区福祉の向上へ、西伊敷校区社協としてより努めていきたいと思います。またタオル贈呈に関する事務として、6月頃に町内会連合会が主体となり、高齢者等調査を毎年行っていますので、ご協力お願いいたします。

## 赤い羽根共同募金活動

12月11日、12日に赤い羽根共同募金活動が、伊敷ニュータウンニシムタ・Aコープ前にて実施されました。校区社協からは、12名の参加でした。例年、西伊敷タイヨー前にて実施しておりますが、今年度は他校区社協との合同での実施となりました。お店に来られた方々から、温かいご支援や言葉をいただき、寒空の下でしたが楽しく活動を行うことが出来ました。



## 第2回役員会・意見交換会

11月22日（月）に西伊敷福祉館2階にて、まちづくり協議会との合同意見交換会が開催されました。20名近くの福祉委員、事業者に参加していただき、日々の校区福祉に対しての意見や、昨今の福祉現場の声を伺う機会となりました。



### 【意見交換会内容・トピック】

#### ◆事業所と地域の接点を。

参加していた事業所の方から、地域のために出来る事をしたいが、その機会と巡り合えないとのお話がありました。校区の中にある福祉事業所も多く、共に生活をしていますが、まだ関係構築という点では、様々な可能性を秘めています。校区社協、まちづくり協議会も含め、機会創出へ動き出していくたいと思います。

#### ◆児童ルーム利用者数減少

福祉館館長より、昨今、児童ルームの利用者数が少ない日があるとのお話がありました。家庭での娯楽の充実や、児童クラブなど理由に挙げられます。

## 非常時炊き出し訓練



1月23日（日）、小雨の降る中、非常時炊き出し訓練が福祉館にて開催されました。感染症拡大もあり、規模縮小にて少人数での実施となりました。日本赤十字鹿児島支部の講師の方をお招きし、炊き出し手順や留意点をご指導いただき、実際にお米を炊き上げました。炊きあがったお米は薄口醤油で味付けされており、炊飯器で食べるお米とまた違う美味しさがありました。

## 校区ホットニュース



### ボランティア表彰

○南 貞雄さん  
長年の日々の通学ボランティアでの活動が認められ、11月25日に鹿児島市社会福祉功労者に選出されました。子供達の安全のための活動ありがとうございます。

※この社協だよりの作成に当たっては、「赤い羽根共同募金」の活動助成金を頂いております。



西伊敷校区社会福祉協議会とは・・・鹿児島市社会福祉協議会(市社協)・鹿児島市の支援をいただきながら、各小学校区における福祉活動の増進のために活動しています。その西伊敷版です。福祉にかかる研修会のほか、子育てサロンの開設なども行っています。財源は町内会会費のほか、市社協・鹿児島市からの助成金も充てています。委員は民生委員・町内会長・まちづくり協議会・福祉有識者の皆様で構成されており、年間を通じて活動しています。会長 藤崎 剛 090-7929-1634